



## 柴崎排水区浸水対策事業における大口径推進工事の到達と現場見学会

令和2～4年度の3か年継続事業で進めている柴崎幹線（2工区）整備工事は、国道6号と県道8号船橋我孫子線の下を横断して雨水管を布設しています。布設する管は口径3.0mの大口径で、国道・県道にまたがることから、特殊工法となる推進工法での施工です。口径3.0mの布設は推進工法では最大級で、全国的にも珍しく、市内では初の規模です。

令和3年9月に大口径推進工事を開始し、11月に到達しました。今後は特殊マンホールの施工を予定しています。



### 現場見学会開催内容

日時：令和4年1月15日（土曜日）①午前9時～10時②11時～正午※雨天中止

場所：現場事務所前集合、No. 22-1 到達立坑で解散（別紙②施工平面図参照）

内容：No. 23-1 両発進立坑からNo. 22-1 到達立坑まで、口径3.0mの雨水管  
全長130mの内部を歩いて見学します。（別紙②施工平面図参照）

対象：近隣自治会（2部制）

### 背景

柴崎排水区はJR常磐線天王台駅を中心とした排水区で、ベッドタウンとして急激に宅地開発が行われ都市化が進んできました。これにより雨水流出量が増加し、1時間あたり20mm程度の降雨でも浸水被害が発生していました。浸水被害を軽減するため、平成25年度から最下流となる水路の改修工事に着手しました。後田樋管の改築工事は国土交通省の堤防整備工事と一体的に整備し、令和元年8月に工事が完成しました。

#### 【問い合わせ】

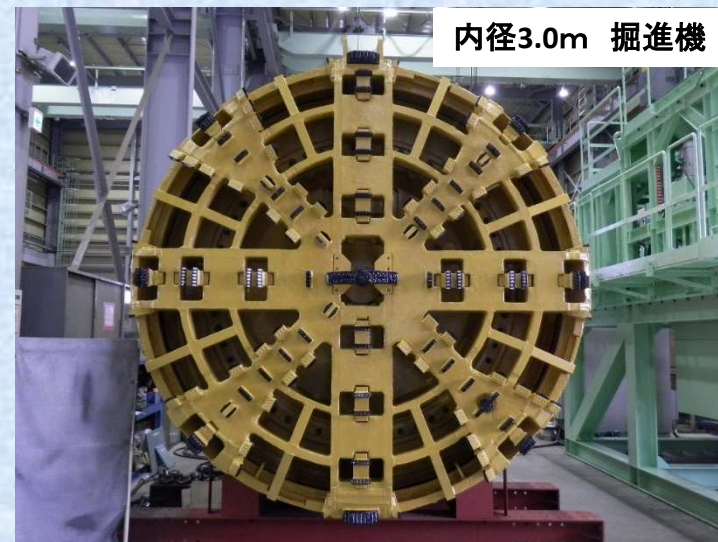
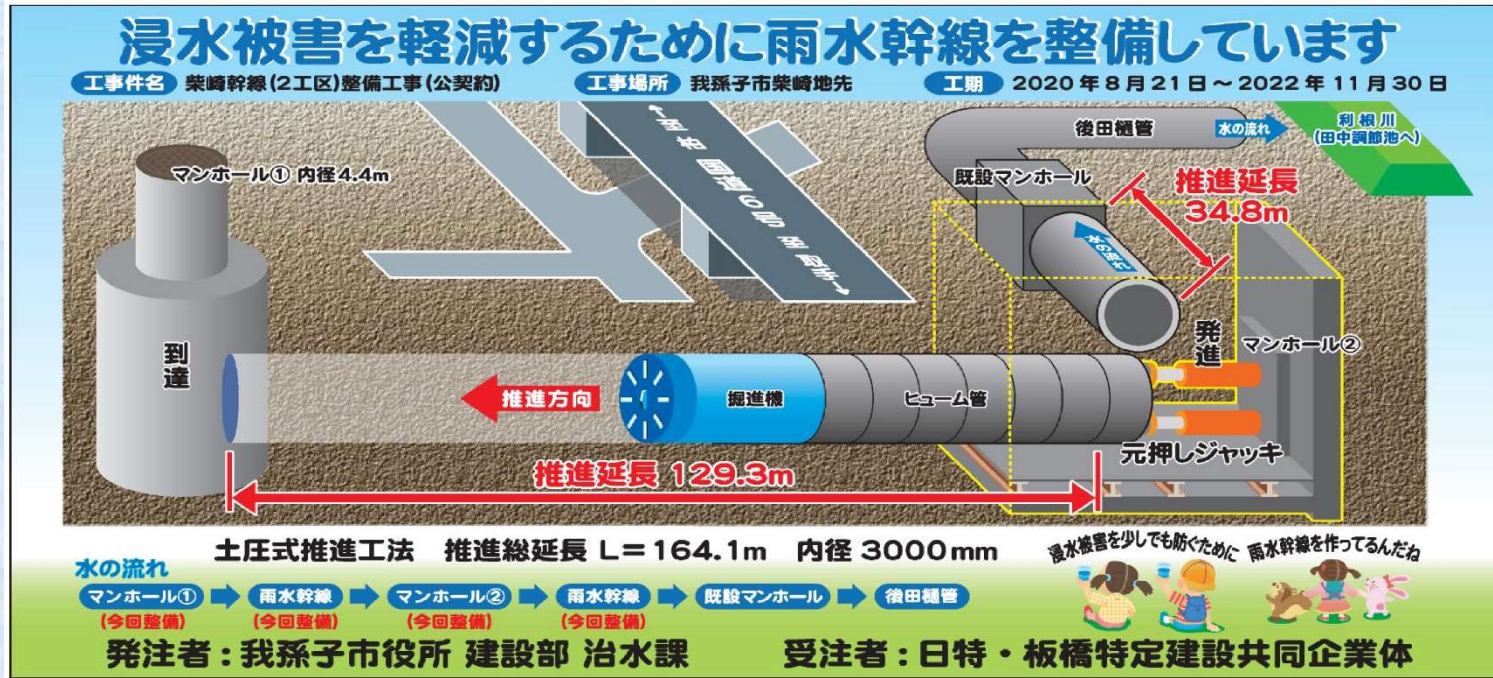
我孫子市建設部 治水課 担当：杉本

☎04-7185-1509（直通）

# ① 柴崎幹線(2工区)整備工事(公契約)の施工方法について

## 推進工法

柴崎幹線(2工区)整備工事(公契約) 施工方法



## ② 柴崎幹線(2工区)整備工事(公契約) 施工平面図

